

租税教育実践レポート

わたしたちの生活と税金の関わり

登米市立石越小学校教諭 6学年 菅原 裕太

実施年月日：令和6年5月31日 37名

1 実践計画・指導のねらい

多くの児童は「消費税」という言葉を知っており、消費税が8%や10%であることも知っている。しかし、実際に税金がなんのために集められ、どのように使われているのかを理解している児童はほとんどおらず、ニュースの裏金問題などから、税金に対して、肯定的なイメージを持っている児童は少ない。そこで、本単元では、社会科の学習や、「租税教室」を通して、税金の働きや使われ方について理解し、自分たちの生活と税金の関わりについて気付かせたい。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問 (○)、児童の反応 (●)、使用教材等 (□)
1	【国の政治のしくみと選挙】 ・選挙のしくみと税金の種類や働きについて調べ、税金が私たちの生活にどのように関わっているのかを理解する。	○ <u>税金についてどのようなことを知っていますか。</u> ● 消費税がある ● 買い物をすると10%かかる ● 何に使われているかはあまり分からない ○ <u>税金はあった方がよいか、ない方がよいか。</u> ● 生活が苦しくなるからない方がよい □ 教科書（新しい社会6 政治・国際編 東京書籍）
2	【国の政治のしくみと選挙】 ・国会の働きについて知り、国会は国の政治の方向を話し合ったり、国のお金の使い道を決めたりしていることを理解する。	○ <u>国会の働きについてまとめましょう。</u> ● 国会では予算や法律を決めている ● 予算を決めるということは、税金の使い道を決めるということ ● 国の事業には税金が使われている □ 教科書（新しい社会6 政治・国際編 東京書籍）
3	【震災復興の願いを実現する政治】 ・復旧、復興に向けた国の支援について調べ、被災した人々の願いを実現するためにも税金が使われていることを理解する。	○ <u>震災が起きたとき、税金はどのように使われたらうか。</u> ● 復興特別税が使われた □ 教科書（新しい社会6 政治・国際編 東京書籍）
4	【租税教室】 ・税金の種類や、税金の使われ方について知り、その必要性について考える。	○ <u>税金と私たちの生活との関わりを考えよう。</u> ● 税金はたくさん種類がある ● 学校や公民館などみんなが使う物には税金が使われている ● 税金があるから安心して生活をする事ができていると分かった □ 税のDVD（マリンとヤマトの不思議な日曜日）
5	【標語・絵葉書作り】 ・税金について学んだことを生かし、「税に関する標語」「税に関する絵葉書」を作成する。	○ <u>税金について学んだことを生かして、標語と絵葉書を作ろう。</u> ● 税金の働きや大切さを伝える標語を作ろう ● 税金の働きや大切さを伝えるための絵葉書を作ろう

【指導のポイント】≪1時間目≫

国会では、税金の使い道について話し合っていることや、その税金の使い道を決める国会議員は選挙で選ばれていることをおさえた。

【指導のポイント】≪2時間目≫

消費税以外の税について知らない児童が多かったため、税の種類について調べてまとめる時間を設けた。

【指導のポイント】≪3時間目≫

東日本震災復興基本法や復興特別税について取り上げ、税金が震災からの復旧・復興に必要であることに気付かせた。

【指導のポイント】≪4時間目≫

佐沼税務署の方を講師として迎え、税金の基礎知識について講話をいただいた。1億円のレプリカを持つ体験をすることができ、金額の大きさを実感することにつながった。

【指導のポイント】≪5時間目≫

税金についての学習のまとめとした。

3 実践の成果 (◎) と課題 (◆) (租税教育を実施後、教諭自身の感想や児童・生徒の反応、他の教諭に対して、今後参考としてほしい事項など)

- ◎ 租税教室では、クイズやDVDの視聴を通して、税金の働きを分かりやすく教えていただき、児童の多くは税金の必要性について理解することができた。
- ◎ 税に関する標語や税に関する絵葉書を作ることを通して、どのように税金が使われたらよいか考えるきっかけとなり、税金の大切さを再認識させることができた。
- ◆ 登米市の税金の使い方など、自分たちの生活にどのように反映されているのかを知ることができる資料を提示して、自分の住む地域にも関心を向けさせるよう工夫すればよかった。